令和6年度 第2回 伊勢原市図書館協議会 会議録

〔開催日時〕 令和7年1月24日（金曜日）午後1時30分から

〔開催場所〕 伊勢原市立図書館会議室

〔出席者〕

（委員）

会 長 朝倉 徹

副 会 長 岩田 利通

委 員 濱田 保

委 員 落合 順子

委 員 石川 政行

（事務局）

教 育 長 山口 賢人

教育部長 成田 勝也

図書館・子ども科学館

参事(兼)館長 林 かをり

図書館係長 秋山 喜則

専門員 細野 文和

会計年度任用職員 内田 淳子

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者〕 なし

《会議次第》

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 題

(1) 図書館・子ども科学館の係再編について

(2) 屋上等防水改修工事の進捗について

(3) その他

5 閉 会

《議事経過》

1 開 会

（事務局）

過半数（7名中5名）の委員出席による協議会の成立について報告。

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 題

(1) 図書館・子ども科学館の係再編について

(委 員)

図書館と子ども科学館は一体の施設で使いやすく、子ども達にも喜ばれている。子ども科学館は、現状として手が回らない部分もあるが、これ以上、人員を減らさずサービスを維持してほしい。

(事務局)

図書館については、近年、パソコン席の利用が伸びる一方、本の貸出し数は伸びていない。図書館でゆったり過ごしたい利用者とリクエストした本を借りたい利用者の二極化が進んでいる。こうした傾向に合わせた体制を構築していきたい。

(委 員)

施設の維持管理には、専門性が求められると思うが、こういった対応をしているか。

(事務局)

庁内他課の技師との連携、技師職の会計年度職員の雇用、年一度の定期点検の外部委託、ビルメンテナンス会社への管理委託ほかにより専門性を維持している。

(会 長)

図書館・子ども科学館は一つの課であることを踏まえ、現状に合わせた執行体制の再編については必要に応じ、適切に進めてほしい。

(2) 屋上等防水改修工事の進捗について

(委 員)

ガラス飛散防止フィルムの耐用年数はどのくらいか。また、図書館・子ども科学館で高圧洗浄の機械を所有しているということか。

(事務局)

ガラス飛散防止フィルムの張替えは、開館36年目にして初めての実施となる。現状、フィルムが剥がれている箇所はなく、20～30年は使用できると考えている。足場を組むこの機会を捉え実施している。また、高圧洗浄の機械は、洗浄を委託している業者のものとなる。

(会 長)

図書館の運営や事業の実施に工事音の影響はあるか。

(委 員)

障がい者向けの対面朗読のほか、一般向けの朗読会を実施している。昨年、工事音が気になることもあったが、可能な場合は、工事のない日曜日を選んで朗読会を行うなど、工夫しながら続けている。

今後、工事音の状況はどうか。

(事務局)

この先、工事音が大きくなるのは、足場を崩す予定の9月と考えている。それまでは工事音も比較的落ち着くと思う。

(委 員)

外壁タイルの剥離等はあるか。

(事務局)

剥離していない箇所も検査のため叩くと、形状が湾曲しているところや陽当たりが良いところは剥離を生じることがあり、張替えについて検討している。安全性の確保を第一に進めていく。

(会 長)

維持管理の専門職ではないとのことだが、よく勉強して対応していると感じた。引き続き、よろしくお願いします。

(3)その他

[会議録の承認について]

会長の承認による会議録の作成について了承された。

[利用者の声について]

(委 員)

もの言わぬ利用者が増えているのではないか。利用者の声を拾うため、こういった対応をしているか。

(事務局)

市全体の取組としては「わたしの提案」や「お問い合わせメール」があり、図書館独自の取組としては「みんなの声」がある。「みんなの声」は「わたしの提案」より以前から行っている。かなり多くの幅広い問合せや御意見・御要望があり、個別に対応している。こうした手段に拘らず、多くの御意見をいただきたい。

午後 2 時 47 分閉会